

ミューチップとフラッパーゲート、指静脈認証装置を連携させた 物理セキュリティマネジメントシステム「**Webvisor**®」を自社導入

日立電子サービス株式会社(以下「日立電サ」、本社：神奈川県横浜市、社長執行役員：百瀬 次生)は、日立ソリューションサポートセンタを運営する三田オフィス(東京都港区三田)のセキュリティレベルをさらに向上させるため、世界最小クラスの非接触型 IC チップ「ミューチップ」と「フラッパーゲート」、「指静脈認証装置」と日立電サが提供している物理セキュリティマネジメントシステム「**Webvisor**」を連携させた入退出管理システムを導入し、10月から稼働を開始しました。

ミューチップ付社員証を全社員に配布、フラッパーゲートを 1F の正面玄関および通用口に設置し、社員やグループ会社の社員など総勢約 7,000 名が利用しています。さらに高度なセキュリティレベルが求められるサーバ室や日立ソリューションサポートセンタなどに指静脈認証装置を設置しました。



(写真 A：フラッパーゲート)



(写真 B：指静脈認証装置)



(写真 C：監視カメラ)

情報セキュリティに加え、部外者の侵入を防ぐといった、オフィスにおける物理セキュリティの重要性が増す昨今、顧客情報などを管理する三田オフィスのセキュリティレベルをさらに向上させ、万が一の情報漏洩といった事件・事故を未然に防ぐためのさまざまな取り組みの中で、今回、自社開発の物理セキュリティマネジメントシステム「**Webvisor**」に、ミューチップとフラッパーゲートを連携した入退室管理システム、指静脈認証装置による入退室管理システムを採用しました。

これらを採用した理由は、ミューチップ技術が超小型で社員証への装着が容易かつ偽造が困難であることのほか、認証が速く、反応速度が速いフラッパーゲートとの組み合わせで出勤ラッシュ時にもスムーズな入退出が可能なこと、そして、日立の指静脈認証技術が成りすましや偽造が極めて困難、かつ使いやすいことなどです。これらを当社「**Webvisor**」の、入退出者の氏名・入退出時刻・行先管理・画像監視等のシステム的な管理機能と連携させることで、万全、磐石なトータルセキュリティを実現しました。

なお日立電サでは、既に全国の主要サービス拠点(計 29 拠点)において、指静脈認証装置・監視カメラ・温度センサと「**Webvisor**」を連携させたセキュリティシステムの導入を完了し、運用中です。

日立電サは、1962 年(昭和 37 年)の創業以来、お客様システムをあらゆる脅威から守り、システムの安定稼働を通じてお客様に「安心」を提供する会社となるよう努めていますが、今回、高性能な物理セキュリティシステムを導入することによって、お客様の重要な情報を守るという「安心」の充実を図りました。今後も「安心の「電サ」」として歩み続けます。

■「ミューチップ」について

日立製作所が開発した、0.4 ミリメートル角と世界最小クラスで、メモリ容量 128 ビットの書き換え不可能な ID を持つ非接触型 IC チップです。以下のような特徴を持っており、愛・地球博の入場券などにも採用されました。

- ①超小型で強度に優れるため、紙や紙製品への装着・埋め込みが可能。
- ②ミューチップそれぞれの ID は世界に一つしかないユニークな ID であるため、個人の特特定が可能。
- ③書き込みや書き換えができない読み取り専用チップのため、偽造・不正コピー・改ざんは不可能。

■「指静脈認証」について

日立製作所が開発した生体認証技術で、体内にある指の静脈パターンを認証するものです。指静脈は体内にある情報であり、成りすましや偽造が極めて困難です。指に光を透過させて、静脈画像を撮影する透過光方式を採用しており、形状が複雑な細かい静脈まで取得が可能で、直接センサ部に触れることなく高い認証精度を持ちます。また、装置もコンパクトで、ATM の本人認証、PC ログインや入退室管理の他にも自動車などさまざまな分野への応用が期待されています。

■「Webvisor」について

日立電サが開発した物理マネジメントシステムで、以下のような特徴をもっております。

- ①画像集中管理機能：店舗・拠点での記録映像をネットワークによりセンタで収集・一括管理し、店舗での映像紛失や漏洩を防止しつつ、長期間の保存・管理を実現。
- ②入退室管理システム：IC カードや指紋による認証方式に加え、認証精度の高い指静脈認証方式の製品にも対応。
- ③ラック管理：サーバ/ネットワーク機器用 19 インチラックの電気錠の遠隔制御、ラック内の温度・湿度、電流・電圧の異常からの機器の保護。
- ④無線カメラ検知機能：金融店舗やロッカールーム、公共施設、会議室などに不正に設置された無線カメラを自動で検知し、監視カメラと連動することでネットワークを通じてアラームと映像を管理者に通知。
- ⑤画像認識・監視：動き/静止検知(人物、物の区別)、自動追尾、共連れ防止、高解像度 IP カメラによる個人認証などの多様な用途に対応。

■報道機関問い合わせ先

日立電子サービス株式会社 社長室広報グループ【担当：矢野、阿久澤】

〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町 504-2

TEL：045-824-1071（ダイヤルイン）

※本リリースに記載の会社名および製品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

以 上